

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

ヤクスギランド  
 屋久島町立岳南中学校 一年 鈴木 悠岳  
 皆さんはヤクスギランドに行つたことはあ  
 りますか。  
 ヤクスギランドは標高一〇〇〇メートル  
 一三〇メートルにある自然休養林です。  
 フのコースがあり、自分の体力や経験・時間  
 など今の自分に合ったコースを選ぶことがで  
 きます。また、険しい山道のような場所はな  
 く、基本は木の板がならべられている道な  
 ので体力に自信のない方でも、気軽に行く  
 ことができます。ですが、木の板がぬれてい  
 るとすべることがあるので、きをつけてくださ  
 い。  
 ヤクスギランド入口には車でいくことがで  
 き、おみやげ屋や休憩スペースがあるので、  
 ヤクスギランドトレッキングする前や後に  
 休憩スペースでしばらく休んだりトレッキ  
 ングの後の休憩やおみやげの購入することが  
 できます。

中学校

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

ヤクスギランドには、大きな屋久杉がいくつかあります。また、かわった形のくぐり杉などもあり、それを見に行くことを目標にして、もいいでしょ。

さらに、川やばつ、さいされた杉のきりかぶが、倒された木など、いろいろな屋久島の山の姿を見ることができ、春・夏・秋・冬、でもちがう景色を見ることができ、一度行つたことのある方もぜひもう一度行つてみては、いかがでしょう。

中学校

ヤクスギランドは、屋久島の自然ヤトレッキングを楽しみたい人だけでなく、屋久島の植物を見たい人などにもおすすめてです。ヤクスギランドには、屋久杉を始め、たくさんのコケや木・花がはえています。そのほかにも、たおれた木のうえに植物がはえているようすをかんさつすることができるので、植物のかんさつ等が好きな人や、きょうみがある人はぜひヤクスギランドに行つてみてくださーい。

このように、ヤクスギランドには、たくさ

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおぎない、むだなことはけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
  - 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
  - 3、文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
  - 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。
- （ 月 日 曜日）

人の植物があります。また、初心者や子どもでもかんたんにトレッキングができるのでぜひヤクスギランドに行ってみてください。そして、そのことをいろいろなところへ発信してくれらうれしいです。

中学校

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)

